

ヨハネの福音書1章29-41節

その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来られるのを見て言った。「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。³⁰ 私が『私のあとから来る人がある。その方は私にまさる方である。私より先におられたからだ。』と言ったのは、この方のことです。³¹ 私もこの方を知りませんでした。しかし、この方がイスラエルに明らかにされるために、私は来て、水でバプテスマを授けているのです。」³² またヨハネは証言して言った。「御霊が鳩のように天から下って、この方の上にとどまられるのを私は見ました。³³ 私もこの方を知りませんでした。しかし、水でバプテスマを授けさせるために私を遣わされた方が、私に言われました。『聖霊がある方の上を下って、その上にとどまられるのがあなたに見えたなら、その方こそ、聖霊によってバプテスマを授ける方である。』³⁴ 私はそれを見たのです。それで、この方が神の子であると証言しているのです。」³⁵ その翌日、またヨハネは、ふたりの弟子とともに立っていたが、³⁶ イエスが歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の小羊。」と言った。³⁷ ふたりの弟子は、彼がそう言うのを聞いて、イエスについて行った。³⁸ イエスは振り向いて、彼らがついて来るのを見て、言われた。「あなたがたは何を求めているのですか。」彼らは言った。「ラビ（訳して言えば、先生）。今どこにお泊まりですか。」³⁹ イエスは彼らに言われた。「来なさい。そうすればわかります。」そこで、彼らについて行って、イエスの泊まっておられる所を知った。そして、その日彼らはイエスといっしょにいた。時は十時ごろであった。⁴⁰ ヨハネから聞いて、イエスについて行ったふたりのうちのひとり、シモン・ペテロの兄弟アンデレであった。⁴¹ 彼はまず自分の兄弟シモンを見つけて、「私たちはメシヤ（訳して言えば、キリスト）に会った。」と言った。

主イエスにあって愛する兄弟姉妹の皆さん、

世界にはジョン（ヨハネ）という名前を持つ人が数多くいます。実は、John という名前は現在のアメリカで2番目に多い名前です。Johnと言う名前を持つ有名人も少なくないでしょう。有名な歌手、音楽家、著者、政治家などです。あなたには、Johnと呼ばれている友達はいませんか。Johnと呼ばれている人があなたの世話になったことがあるでしょうか。

今日、私たちは二人のヨハネについて聞きます。二人とも約2000年前に生活し、互いに何回も会いました。今日でも、天におられる神は彼らを通して私たちを祝福し、彼らの証によって私たちを救い主イエス・キリストに導いてくださいます。洗礼者ヨハネと使徒ヨハネは、誰が救い主であるかを知りました。彼らは、「私たちはメシヤを見つけた」と言うことができました。彼らの証のお陰で、「私たちはメシヤを見つけた」と私たちが言うことができます。

パート1： 神は洗礼者ヨハネによってメシヤを明らかにされた。

洗礼者ヨハネはユニークな人物でした。ヨルダン川近くの荒野で説教しながら、救い主を歓迎する準備として、「自分の罪を悔い改め、罪の赦しのための洗礼を受けるように」と宣教していました。多くの方はヨハネのメッセージに応じて、自分の罪を告白し、洗礼を受け、救い主の登場を待っていました。しかし、エルサレムに住んでいる宗教指導者たちは、ヨハネを問題視していました。「あなたは救い主ですか」と聞いた宗教指導者たちに対して、ヨハネは「いや、違います」と答えました。宗教指導者たちは、「救い主でないなら、あなたはなぜこの新しい洗礼を施しているか。その権威はどこから来たか。」と文句を言いました。ヨハネはそれに対して、「私は、神が7預言者イザヤによって700年前に預言した救い主の先駆者です。」と説明しました。

その翌日、ヨハネは自分のほうにイエスが来るのを見て、「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」と群衆に言いました。洗礼者ヨハネの弟子たちも、他の人も、この証の言葉を聞きました。数年後、イエスが同じ地方へ行ったとき、人々はヨハネが言っていたことを思い出して、「（ヨハネ）がこの方について話したことはみな真実であった。」と言いました（ヨハネの福音書10章41節）。

「見よ、世の罪を取り除く神の小羊。」という洗礼者ヨハネの言葉は、一語一語正しく引用されています。見よという言葉はヨハネの興奮を伝えています。そして、ヨハネの宣言は簡潔ですが、非常に重要です。私たちはこの言葉を心と脳に刻むべきです。この言葉は、死ぬことのない言葉です。イエスは今も天国で、そしていつまでも、小羊と呼ばれています。例えば、黙示録に次のように書いてあります。「その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手を持って、御座と小羊との前に立っていた。彼らは、大声で叫んで言った。「救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある」（7章9-10節）。

イエスが小羊と呼ばれているのは、イエスが私たちを罪と死と永遠の滅びから解放することのできる方だからです。旧約時代のイスラエル人は、エジプトで小羊の血を門の枠に塗って、その血によって奴隷生活と死から解放されました（出エジプト記12章を参照）。後に、イスラエル人の毎日の礼拝は、幕屋やエルサレムの神殿での、朝の生贄（いけにえ）で始まり、夜の生贄で終わりました。その生贄はほふられた小羊でした。これらの小羊は、イスラエル人の

罪のために捧げられなければなりません。これらの小羊はすべて、本物の生贄である救い主を指す描写（影）でした。

「見よ、神の小羊。」 この言葉によってヨハネは、「この方は本当の小羊で、完璧な小羊で、神ご自身が選び、遣わしてくださった小羊です。この方は、本当にあなたがたの罪を取り除き、あなたがたに永遠のいのちを与えることができます」と宣言しました。罪とは、神が定められた的に当たらないことです。つまり、十の戒めによって示された神の御心を破ったり、神が命令したことをしなかったり、神が禁じられたことをしたりすることです。

私たちはアダムとエバから原罪を受け継いでいるので、他人の観点から物事を見るのが下手です。この問題は結婚にストレスを加え、家族の喜びを奪ってしまいます。人間である私たちは、生まれつき自己中心的で、自分の立場からのみ、物事を見がちです。私たちは、特に神との関係でわがままになりがちです。神の考え方は完全なのに、私たちはあまり神の立場から物事を見たくないのです。例えば、私たちは自分の罪とその深刻さを認めたくないでしょう。人間は「私の罪はそんなに悪くはない。私は永遠の罰を受けるべき者ではない。イエスが私の罪を背負って、私の身代わりとして十字架上で永遠の苦しみを受ける必要がない」と思いがちです。しかし、私たちは聖書を読めば読むほど、自分の人生を始め、物事を神の立場から見るができるようになります。

イエスは、世の罪を取り除く神の小羊です。ここで世とは、すべての時代の、すべての国々の人々を意味しました。イエスがこの世の終わりの日に戻って来るとき、その数秒前に生まれた赤ちゃんがいるかもしれませぬし、母の胎内にいてまだ生まれていない赤ちゃんもいるでしょう。世の罪を十字架までに背負ったイエスは、アダムとエバの罪をも、それらの終末時代の赤ちゃんの罪をも、またあなたと私を含めたすべての人間の罪をも背負って、ご自身を捧げることによって、それらの罪をすべて、償ってくださいました。

500年前に生活したマルティン・ルターはこの箇所について次のように書きました。「罪が留まる所は、あなた自身の肩か、神の小羊の上か、その二箇所しかない。あなたの肩に残っているなら、あなたは罪に定められ、失われた者だ。しかし、キリストがその罪を背負っているなら、あなたは解放され、救われる。どうぞ、二つのうちから好きな方を選びなさい。」 洗礼者ヨハネの宣言には、「イエスを注意深く見て、あなたの罪を取り除く小羊としてイエスを信じなさい。」という恵み深い招きが含まれているのです。

洗礼者ヨハネは、イエスが神の小羊であることを確信していました。なぜかと言うと、神は前もって、救い主を見つける特別なしるしをヨハネに教え、ヨハネはそのしるしを見たからでした。イエスがヨルダン川で洗礼を受けた時、ヨハネはそのしるしを見ました。つまり、聖霊が鳩の形で現れ、天から降りてきて、イエスの上に留まったのを見ました。洗礼者ヨハネは自分の目でその出来事を見て、それ以後イエスこそ来られるべき方だと確信しました。洗礼者ヨハネがその証をしたのは、私たちもイエスが約束されたメシヤ（キリスト）であることを信じるためなのです。

パート2： 神は使徒ヨハネによってメシヤを明らかにされた。

その翌日、またヨハネは、ふたりの弟子とともに立っていたが、イエスが歩いて行かれるのを見て、「見よ、神の小羊。」と言いました。イエスを指しながら、同じメッセージを告げました。その二人の弟子は、洗礼者ヨハネが先駆者であることとイエスが救い主であること、そして洗礼者ヨハネとイエスの意思が分りました。それで、彼らは洗礼者ヨハネから離れて、イエスの弟子になりました。「³⁷ ふたりの弟子は、彼がそう言うのを聞いて、イエスについて行った。」それは当然なことでした。

この福音書を書き記した使徒ヨハネは、40節でこの二人の中の一人がアンデレであることを伝えています。使徒ヨハネがもう一人の名前を書き記さなかったのは、自分自身のことだからです。イエスはふたりがついて来るのを見て、「あなたがたは何を求めているのですか。」と言いました。それで彼らは、「ラビ（訳して言えば、先生）。今どこにお泊まりですか。」と言いました。イエスは彼らに、「来なさい。そうすればわかります。」と言いました。そして、一日中イエスと共に時間を過ごしたアンデレとヨハネは、このイエスが約束した救い主で、キリストであることを確信するようになりました。アンデレはすぐに、兄弟シモン・ペテロを探しに行き、「私たちはメシヤ（訳して言えば、キリスト）を見つけた。」と証言しました。後に、ヨハネも自分の兄弟ヤコブ（James）に、「私たちはメシヤを見つけた。」と同じ証言をしました。イエスの弟子が二人から倍の四人になったのは、早かったです。イエスは、人間である私たちに神の御言葉を語る最も素晴らしい預言者です。イエスは、ご自身を捧げる最も素晴らしい大祭司です。イエスは、私たちのために戦場に進み、死と悪魔の力を踏み砕いた最も力強い王です。「私たちはメシヤを見つけた」と言う信者は、実は、メシヤであるイエスは、私たちをご自身の御もとに導いてくださったことを喜び、感謝しています。イエスを見つけた者は、当然他の多くの人とその喜びを分かち合いたいと思います。彼らは、自分の愛する者や友人をはじめ、多くの人にイエスのことを伝道しようと思っています。

使徒ヨハネと他の使徒たちは、イエスの栄光を見ました。これは神の永遠の御子としての栄光でした。使徒ヨハネがアンデレと一緒に、イエスとこの一日を過ごしたことは、イエスの栄光を目撃する始まりでした。イエスの使徒たちは、復活した救い主が天に昇る日まで、神の御ひとり子の栄光を見ました。彼らは見聞きしたことを新約聖書に記録しました。使徒たちの証のおかげで、また私たちの心で働いてくださった聖霊のおかげで、私たちも「私たちは

メシヤを見つけた。」とすることができます。

John という名前を持つ人は非常に多いので、ディア・ジョン・レターという物があります。どのようなものかご存知ですか。Dear John letter とは、付き合っていた彼氏にあてて次のように書かれた女性からの別れの手紙です。

「ジョンさん、すみません。幸せな時もありましたが、色々と思ひめぐらしたうえで、この関係を終わることにしました。さようなら。」ところが、今日私たちは、神に感謝すべきです。洗礼者ヨハネと使徒ヨハネによってご自身の名前を明らかにしてくださったイエスは、決して私たちを見捨てません。イエスは、いつも私たちを弟子として歓迎します。イエスは私たちにも、「わたしは何でもあなたに与えることができる。あなたは何を求めているのか」と言ってください。イエスは、私たちにも、「来なさい。私はあなたに魂のための安らぎをあげよう」（マタイの福音書 11 章を参照）と招いてくださいます。イエスは、私たちに次のように約束してくださいます。「わたしは天国であなたのための場所を備えている。目を覚ましていなさい。わたしはすぐにあなたのために来る」（ヨハネの福音書 14 章を参照）。アーメン。